

拝啓

猛暑の続いた夏もようやく終わり、秋らしい涼風を感じるこの頃ですが、ご清祥のことと拝察いたします。

過日の私の入院、手術にさいしましては、お心のこもったお見舞いを賜りましたこと厚く御礼申し上げます。その後、ご無沙汰をつづけておりましたが、退院後の放射線治療も終わり次第に食欲、体力ともに回復、どうやら日常生活は不自由なく過ごせるようになりました。ここまで元気になることが出来ましたのは、ひとえに皆様方の暖かいお励ましによるものと、衷心より感謝申し上げます。もとより病気の性質上、完全な治癒はたやすく望み得ず、また肺の三分の一を切除したため、病気以前のようなことは到底できませんが、今後は体力に即して、無理のないように生活していきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

なお同封いたしました拙著は、病後にかけてようやく書き上げました。一向にかわりばえのしないものですが、見本が出来ましたので、お送りいたします。お暇の折りに御笑覧、御批判いただければ幸いに存じます。

気候の不順な季節に入ってまいりました。くれぐれも御自愛のほど心からお祈りしております。

敬具

九月五日

網野 善彦

西山 郷史 様